

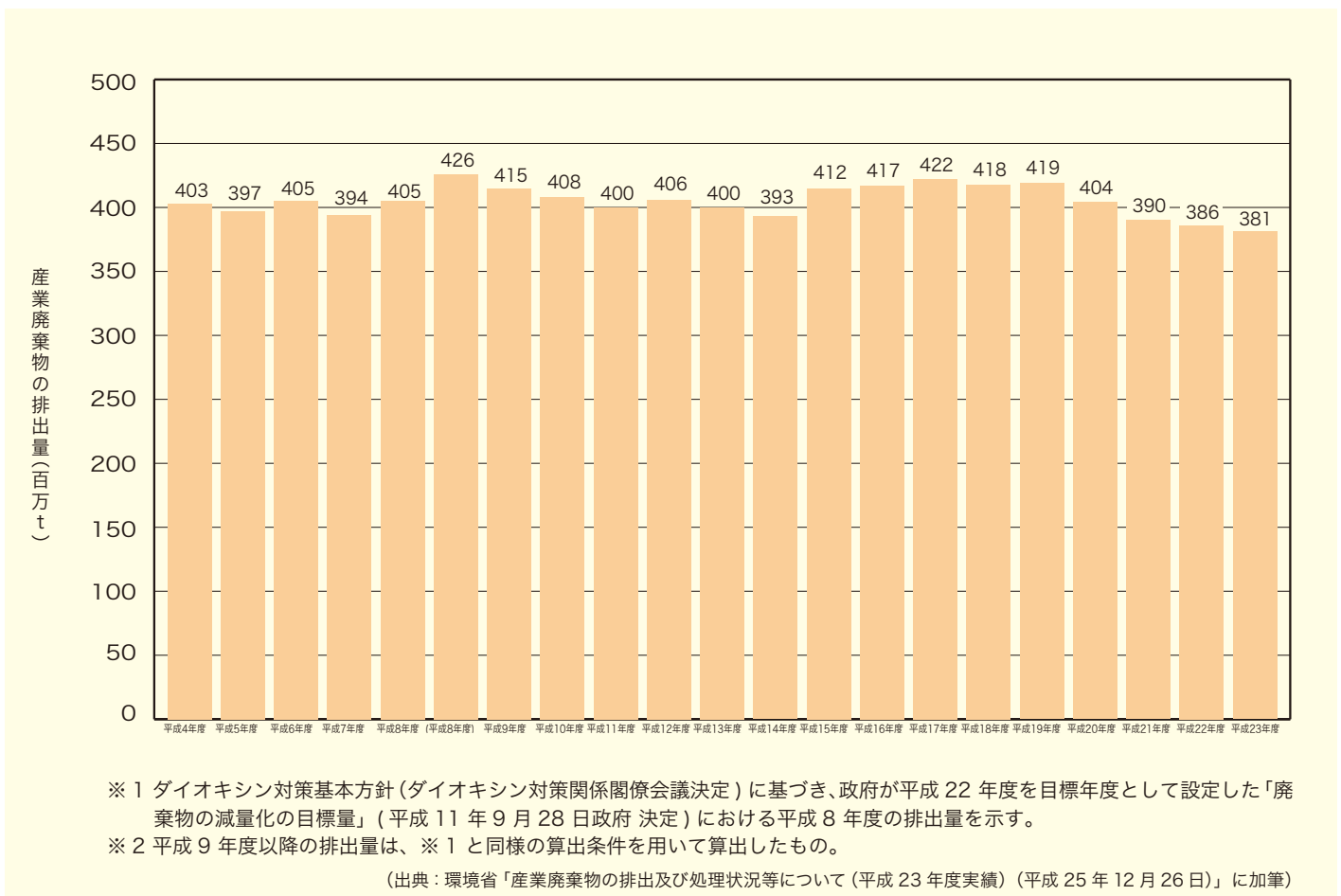
(2) 産業廃棄物

①総排出量

平成 23 年度における全国の産業廃棄物の総排出量は約 3 億 8,121 万トンであり、前年比約 1% の減少となっています。また、再生利用量及び、中間処理による減量化量は徐々に増加し、最終処

分量は徐々に減少し、平成 23 年度の最終処分量は 1,244 万トンとなっています。(図 - 1 - 8)

図-1-8 産業廃棄物の排出量の推移

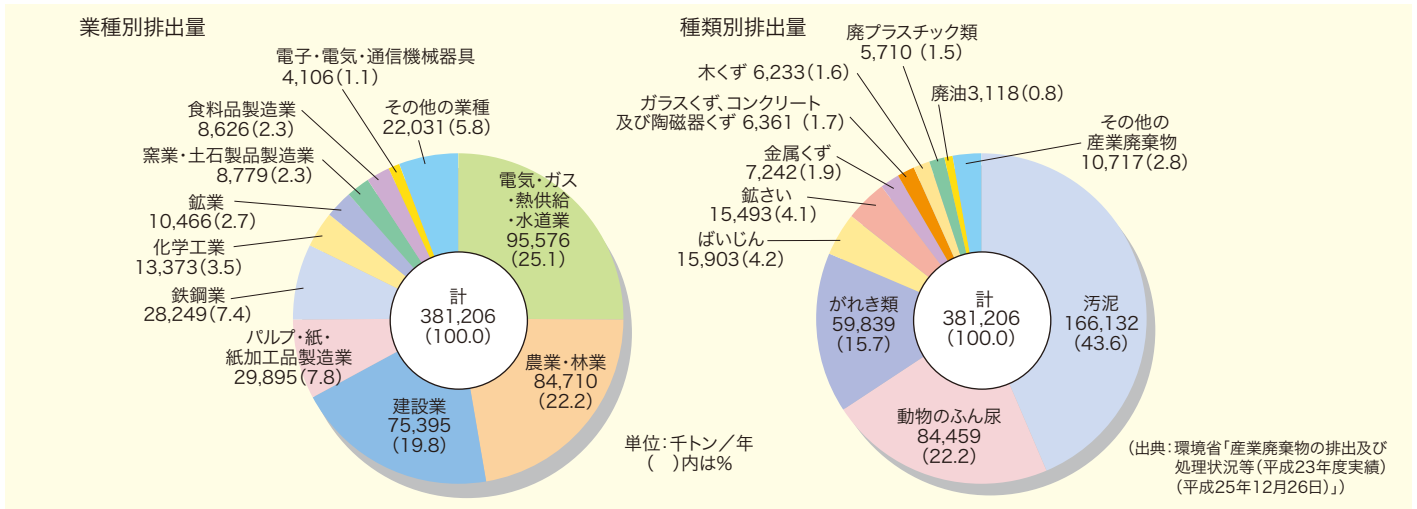


②業種・種類別排出量

産業廃棄物の排出量を業種別にみると、電気・ガス・熱供給・水道業(下水道業を含む)、農業・林業、建設業、パルプ・紙・紙加工品製造業及び鉄鋼業の 5 業種で約 82% を占めています。

また、種類別にみると、汚泥、動物のふん尿及びがれき類の 3 品目で全排出量の約 81.5% を占めています(図 - 1 - 9)。

図-1-9 産業廃棄物の業種・種類別排出量（平成23年度）

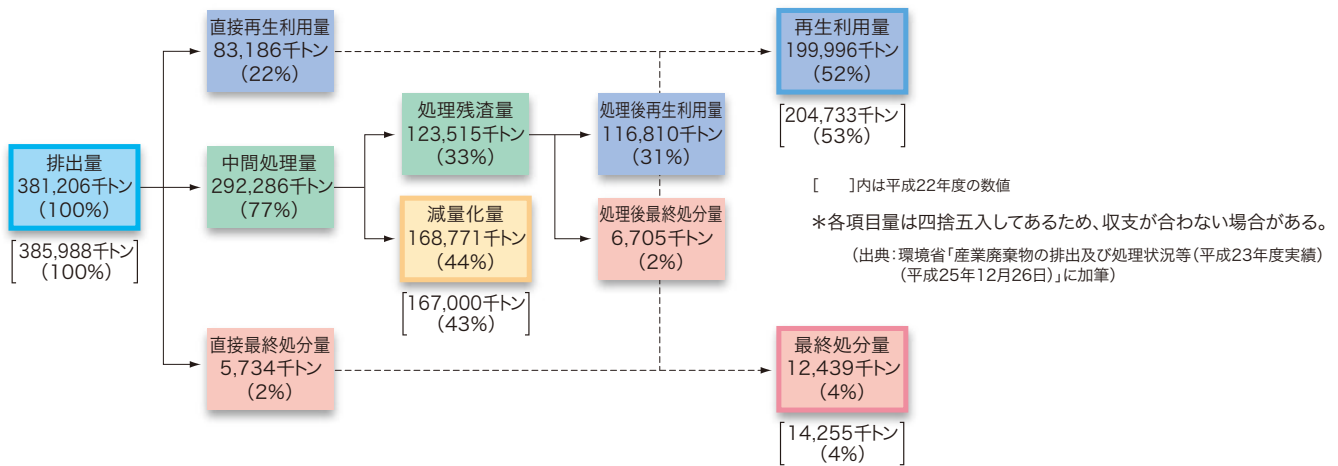


③産業廃棄物の処理フロー

総排出量約3億8,121万トンのうち、直接再利用されたものは約8,319万トン、中間処理された約2億9,229万トンは約1億2,352万トンまで減量化され、再生利用または最終処分されています。

最終的には排出された産業廃棄物全体の52%が再生利用され、4%が最終処分されていることになります。(図-1-10)

図-1-10 全国産業廃棄物の処理のフロー（平成23年度）



④最終処分場の状況

平成24年4月1日現在、産業廃棄物最終処分場の残存容量は約18,606万m³であり、前年度から約846万m³(約4.3%)減少しています。最終処分場の残余年数は全国平均14.9年となっています。

(図-1-11)

図-1-11 産業廃棄物最終処分場の残存容量と残余年数の推移

